

# 子ども・子育て支援に関する ニーズ調査の概要について

### 制度上の位置づけ

- 市町村子ども・子育て支援事業計画には、計画期間(5年間)について「量の見込み」と「確保の内容」・「実施時期」を記載。
  - 「量の見込み」は、「現在の利用状況」+「今後の利用希望」を踏まえて設定する。  
←「今後の利用希望」を把握するためには、住民に対する利用希望の調査が必要。
  - 子ども・子育て支援法においては、
    - ・子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向などを勘案して作成、
    - ・子ども及びその保護者の置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して作成するように努めるものとするを法定し、市町村による住民の利用希望などの把握を明記している。
- 子ども・子育て支援新制度では、住民の利用希望の把握の必要性が高い。

# 桑名市におけるニーズ調査の実施について①

## 1. 趣旨

平成32年度からの「桑名市子ども・子育て支援事業計画(第2期)」策定の基礎となる、市民の皆様の幼児教育・保育・子育ての今後の利用希望や子育てに関する実態などを把握するため、子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施する。

## 2. 調査の概要について

### ア) 調査の対象

調査対象区域は市全域とし、調査の対象及び対象者数は以下のとおりとする。

- ・就学前児童を持つ保護者 7,000件程度(全世帯調査(※))
- ・小学生の児童を持つ保護者 2,000件程度(住民基本台帳により無作為抽出)

(※)就学前児童が複数いる世帯には、回答者のご負担を考慮し、抽出により世帯につき1人の児童について調査を行う。

### イ) 調査方法: アンケート形式の調査票の郵送による配布及び回収

### ウ) 調査実施スケジュール(予定)

8月23日 平成30年度桑名市子ども・子育て会議(第1回)・・・調査票【案】の提示  
次回の会議までに、各委員で調査票【案】をご確認いただく。

11月 平成30年度桑名市子ども・子育て会議(第2回)・・・調査票【案】について分科会  
において検討。 ⇒調査票の確定

以降 ニーズ調査実施

平成30年2月～3月 ニーズ調査の結果の速報を報告

## 桑名市におけるニーズ調査の実施について②

### 3. 平成25年度実施のニーズ調査について

- 桑名市子ども・子育て支援事業計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とし、小学生6年生以下の児童を持つ保護者を対象として実施。
- 就学前の子どもの保護者に対しては、教育・保育事業の利用状況や利用意向、病気・病後の対応、地域子ども・子育て支援事業の利用状況や利用意向、小学校就学後の放課後の過ごし方、仕事と子育てなどについてアンケート調査を実施した。
- 小学生の保護者に対しては、放課後児童クラブの利用状況や利用意向、病気・病後の対応、仕事と子育てなどについてアンケート調査を実施した。

調査対象者	調査件数(抽出)	調査票の装丁	回収数	回収率
就学前の子どもの保護者	6,255件	20ページ	3,142件	50.2%
小学生の保護者	2,000件	16ページ	1,431件	71.6%

### 4. 今回提出した調査票(案)について

- 前回の平成25年度に実施したニーズ調査の調査票を基本としているが、保護者ニーズ等の経年変化を確認するために、平成25年度の調査項目と同じ項目を、今回の調査票にも盛り込んではどうか。
- 一般的に、調査項目を増やす場合には、きめ細かな調査を行う事ができる反面、回答者にとって負担となり、回収率も低下する懸念がある。一方、調査項目をしぼる場合には、簡略で回答しやすい調査となるが、きめ細かな調査を行うことが難しい点に留意。
- 次回の会議では、分科会ごとにグループワークの手法を用いて検討を行う。そのため、次回の会議までに、各委員の皆様において調査票【案】をご確認いただき、ご意見をいただきたい。  
⇒委員の皆様のご意見がより正確に反映されるように、具体的な修正案をご提示いただきたい。